

全学年	「食」を考える	道徳・学級活動
実践の時期	平成5年1月(昭和55年)	仙台市立向陽台小学校 教諭 阿部 謙
実践のねらい	飽食の時代といわれ、給食の残菜がすごい。（大人社会も）給食週間と合わせ、世界中には、食べ物がなく飢えていく子どもがたくさんいること、残菜を金額に直すと数億円に上ることに気づかせ、自分の食生活を見直すきっかけとしたい。	
新聞活用のねらい	「給食の残菜」「ソマリアの子ども」の記事を使うことにより、具体的に現状を知ることができた。	
実践集録資料	平成4年度 県NIE研究集録、小学校部会実践事例集	

## ◎実践の概要

### ○資料の準備

- ①ほしい記事（アフリカでの貧困が分かり、写真のある記事）  
河北新報広報局で、データベース利用。
- ②TVで、国分町のごみ（飲食店から出る残菜）を録画。
- ③給食の残菜についての記事（2種類）は、以前にスクラップしておいたもの。

### ○本時の流れ

ソマリアの子どもの記事と写真を見て、思ったことを書き、発表する。

#### ワンポイントアドバイス

ここがよかった。  
・写真のある記事は、説得力がある  
・ビデオも使うことにより、それぞれのメディアの特性を生かせる。

国分町のごみのビデオを見て、思ったことを書き、発表する。

#### ワンポイントアドバイス

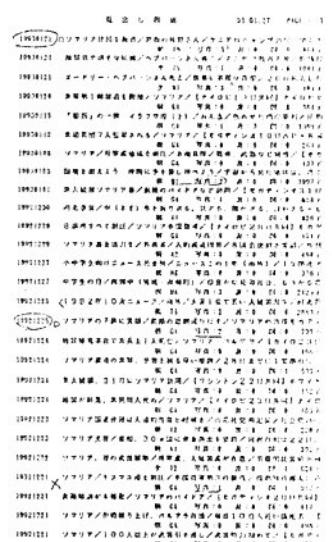
新聞社を利用しよう。  
・NIEは、新聞社と学校が連携して活動しています。記事の収集、記者の派遣など、まずは、相談してみましょう。

給食の残菜の記事を読み、考えたことを書き、発表する。

それらをもとに、話し合う。

壁新聞にまとめる。

## ①データベース利用（河北新報社）



記事を得る（コピー、データベースより出力）

## ②自分のスクラップ



## ソマリア難民を救援



## ソマリアの子供に笑顔



## ③子どもの感想・意見

心のノート

① ソマリアの子供たちの新聞のことを見えていました。

私は今日ソマリアの子供たちの新聞のことを見えていました。  
材料も何もない所がたくさんあります。(このことはいつも)

と思いました。  
そこで私たち日本人は食べ物の手らいなさい

れましたとおもったくらいたしました。

② 日本の大人の食べ物を同じで感じたこと  
日本人のものはお店へいって買います。  
とてもおいしいのだと感じます。

③ 私は毎日給食をもらっています。  
でも自分で作った夕日のおひるねをほんとうに食べるのをよくくり

しました。  
これからは食べ物を大切にしていきたいです。

食べ物はごこちない

ものありますね。

